

根拠を明確にして文学作品を読む力の育成

— 叙述や表現の特徴に着目する鑑賞シートの活用を通して —

特別研修員 国語 岡野典子(中学校教諭)

〈生徒の実態〉

進んで課題を見つけようとしたり、さらに掘り下げて作品を読み深めようとしたりすることが苦手

どう読んだらいいか
分からない・・・

何を読み取ればいいか
分からない・・・

〈教師の願い〉

作品に込められた作者の思いを読み取ったり
読みを深めたりして欲しい

鑑賞シートの活用

鑑賞シートは
読み取りの道しるべ

① 解釈のポイント

④ テーマ

② 解説文

③ イラスト

〈手立て1〉鑑賞シートで読む

【個人で作成】

解釈のポイントを全体で確認して記入。それを基に解説文やイラストをかく。さらに全体を踏まえてテーマを考える。

鑑賞シートを構成する4要素

① 解釈のポイント
重要語句や表現技法を記入

② 解説文
漢詩の内容を言葉で説明

③ イラスト
漢詩のイメージをイラストで表現

④ テーマ
主題を表した短い言葉

鑑賞シートに
順番に書き込んで
いたら漢詩が
読めた！

叙述や表現技法を
手がかりにすれば
読めるんだ！

〈手立て2〉鑑賞シートで交流する

【友達と意見交流】

グループごとに、鑑賞シートを用いて意見交流し、その後個人で鑑賞シートを練り直す作業を行う。

交流したことを
生かして、
より深い読み
になった！

どうしてそう考えたか、
詩の言葉を基に話そう！

友達の考えを聞くと、見落
していたことに気付けた！

〈目指す生徒像〉 根拠を明確にして文学作品を読む生徒

〈成果と課題〉

- 鑑賞シートの活用を通して、生徒は作品中の叙述や表現技法、作者の生き方や時代背景など様々な角度から根拠を持って作品を捉え、解釈することができた。
- 文学作品を扱う上で、個人の自由な解釈にゆだねられる部分と揺るがない事実として押さえておかなければならない部分の線引きが困難な場面がある。